

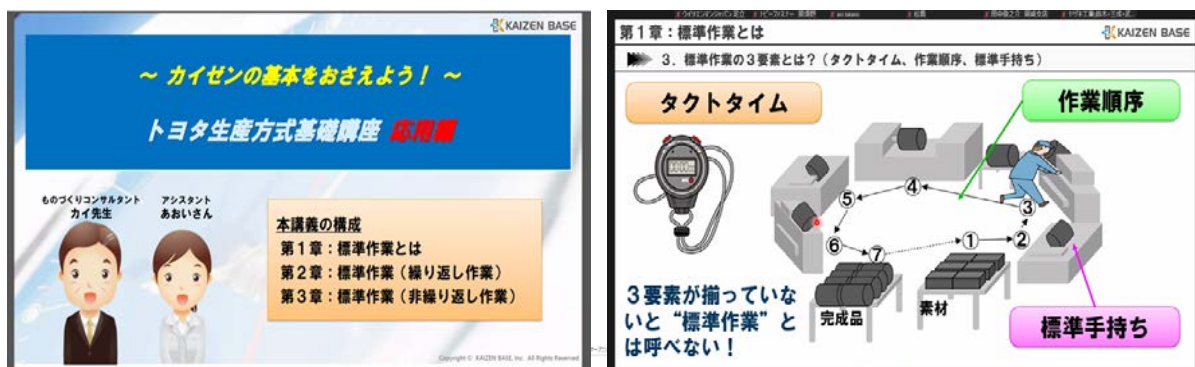
次世代自動車センター活動レポート Vol.137

■ 自動車工学関連講座（第3回中堅技術者向けWebセミナー） トヨタ生産方式基礎講座（応用編）（会員限定）

次世代自動車センター浜松では、会員企業の皆様からご要望の多い中堅社員向け社内教育として、汎用的なテーマを取り上げ、中堅社員向けWebセミナーとして開催しています。

本年度も自動車工学関連講座の一環として、カイゼンベース社に講師を依頼し、昨年度の4回から内容を拡充して6回連続のWebセミナーとして順次実施していきます。今回は、その第3回として「トヨタ生産方式基礎講座（応用編）」を開催しました。

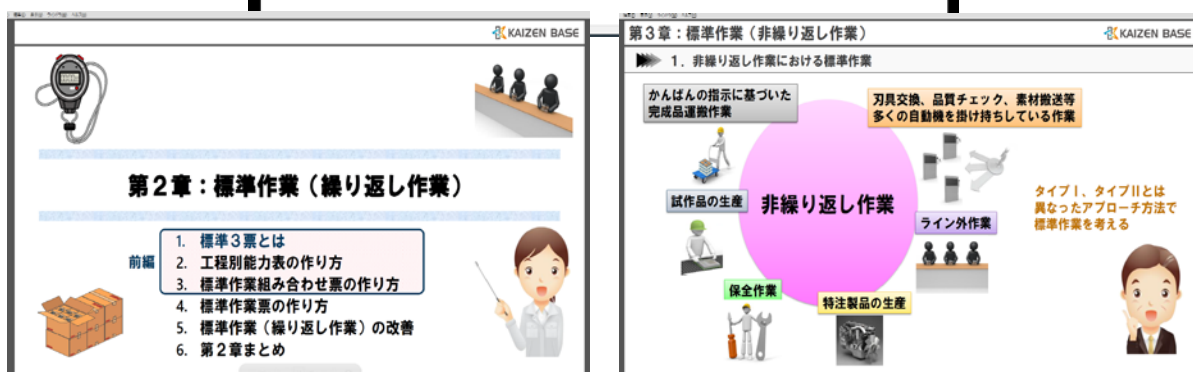
- 日 時：令和4年7月5日（火）13時30分～15時30分
- 場 所：Web形式
- 参加者：61社/173名



自動車工学関連講座

2022年度 第3回 中堅技術者向けWebセミナー 「トヨタ生産方式基礎講座(応用)」

公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構
次世代自動車センター浜松



【参加者の声】

- ・標準作業の必要性、また標準組合せ票の演習など、今後の生産活動に活かすべき内容を認識することができた。
- ・トヨタ生産方式基礎内容ではあるが標準作業もタイプ別に分け、考慮すべき内容を知る事や全体を知る為の帳票類を使いこなす為に考える事の重要性を学ぶ事ができた。本セミナー内容は生産工程のみならず、あらゆる業務の生産性向上にも応用ができる内容となる為、今後の業務の効率化にも生かしていきたいと感じた。
- ・標準作業の定義、標準組み合わせ表の演習等を見たことや聞いたことはあっても演習課題としてまでやったことが無く、帳票の使い方として大変参考となった。
- ・弊社では多品種小ロットの製品が多く、非繰り返し作業にあたる作業も多いためこのような作業について作業時間短縮が課題であり、今回の講座でこのような作業へのアプローチについて学ぶことができて大変参考になった。
- ・工程を分解し、それをタクトタイムという手法での可視化改善に結び付ける方法は基礎、基本的であるものの、効果的であることを再認識できた。
- ・タクトタイム等を用いて、作業の効率を上げて作業の無駄を少なくしていき、生産につなげる事や作業時間の測定や改善の考え方など具体的で大変参考になった。
- ・標準作業の3要素は作業の標準以外にソフトウェア開発において処理シーケンスを明確化する時にも活用出来そうに感じた。
- ・標準作業組み合わせ票を作成することで視覚的に改善点を見つけられることがわかった。また、時間短縮を図る際に無理な行動を計画しないように現場を知っておく必要があることを改めて感じた。
- ・一つの係の予定を立てる仕事をしているので、機械ではなく、人に合わせたやり方を行う等、バランスのとれた作業をする為には大事な要素（平準化等）を教えていただいて、とても為になった。